

# 東大野球部メールマガジン Vol.186

## ごあいさつ

日に日に春の訪れが感じられる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

一昨日、野手陣は福岡へと飛び立ち、春季合宿がスタートしました。現在沖縄にてキャンプ中で、2日に福岡へ合流予定のバッテリー陣共々、毎日練習を重ねて春季リーグ戦への弾みをつけてまいります。今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願いいたします。

## 今後の日程

〈福岡合宿〉

2月26日～3月12日 @リョーユーパン野球場

〈春季オープン戦〉

3月3日 13:30 vs 福岡大 @福岡大 G

3月9日 14:30 vs 川和高 @東大球場

15:00 vs 西部ガス @西部ガス G

3月10日 13:00 vs 九州産業大 @九産大 G

3月11日 10:00/13:00 vs 日本文理大 @文理大 G

## 今回の特集 「バッテリー合宿」

今回の特集は、「バッテリー合宿」です。大分・沖縄バッテリー合宿を経て成長したことや今後の意気込み、エピソードなどについて語っていただきました。

### 溪 亮（新4年・投手・浅野）

3回目にして最後の沖縄…待ちに待ったオフに、福井(新4年・捕手・駒場東邦)、三鍋(新4年・捕手・川和)、溪、川口(新4年・投手・県長野)の4人はうまいポーク玉子を求め、国際通りへ繰り出した…ステージ上で歌詞の分からない島唄を歌っている福井…女性とまるで視線が交わらない川口…歌は上手いのに日本語は下手な三鍋…今年も泡盛にやられてまっすぐ

前に進めない溪…国際通りの夜は更けていく…めんそーれ…

さて、僕にとって沖縄は、野球的にも人間的にも大きく成長させてくれる場所です。今回もたくさん投げ、食べ、分析し、福岡合宿、春のオープン戦、春季リーグ戦と、常に上昇し続けようと思います。



### 福井 拓（新4年・捕手・駒場東邦）

今回の合宿では、様々な方からの差し入れであったり、沖縄の方々からのおもてなしであったり、各高校さんのグラウンド、宿舍貸し出しなど、様々な方から支えられていることを感じております。格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

沖縄にすることで、より一層、このような生活を送れることに感謝の気持ちが湧きあがります。この思いを胸に、頑張ってみりたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



### 坂口 友洋（新3年・投手・日比谷）

今回のバッテリー合宿のハイライトは、なんと言っても那覇国際高校での勉強会だろう。その前の首里高校での交流会で、私は話の種が尽きるという失態を犯していた。もう高校生の失望した顔は見たくない。そう意気込んで望んだ勉強会だった。結果として終了後に高校生2人に話しかけられるという成果を得た。私の講演が届いた証拠だろう。

一方、野球の面では暖かい気候のもと、快適に練習ができています。



### 野村 優太（新2年・投手・仙台二）

大分・沖縄バッテリー合宿を通して、技術的なことももちろんそうなのですが、何よりも食事がいかに大切かということ学びました。

まず、大分の合宿では、朝晩とホテルが用意してくれた豪華な食事をいただき、心身ともに万全な状態で練習に望むことができました。

ところが、沖縄合宿では、朝晩は自炊。食材が限られているので毎日同じような食事、ご飯がうまく炊けなかった日には表現しがたい苦しみを味わいました。

この苦境を乗り越え培った強靱なメンタルを野球に生かせればと思っています。



### 加見 伊於理（新2年・捕手・甲陽学院）

今回のバッテリー合宿が自分にとって東大野球部での初めての合宿でした。衛生状態が万全とはいえない中で、先輩方からグルタミン万能説を教えて頂き、ウイルスに負けない免疫力を手に入れることができました。

練習では、多くの投手の球を受けたほか、グラウンドの関係で東京にいた時よりウエイトの時間が増え、筋力アップができたと思います。春のリーグ戦に向け、この合宿で学んだことを生かして今後も一層精進します。



## 編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「福岡合宿」と題し、福岡合宿を経て成長したことや今後の意気込みについて語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしく願っています。

### お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス [office@tokyo-bbc.net](mailto:office@tokyo-bbc.net)

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。